

# 「自分でできる！」の実現

## ～タブレット端末が支える意欲的な学び～

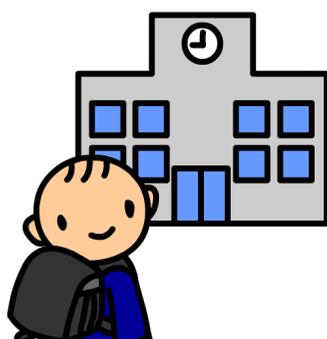
町田市立南つくし野小学校 太田啓介

# 対象児について

- ・ 特別支援学級在籍の5年生男子。
- ・ 1年生時に隣接学区の小学校より転入。
- ・ AD/HDの診断がある。こだわりが強い。
- ・ 教師や友達とコミュニケーションが取れる。
- ・ 算数は学年相応に近い学習ができる。
- ・ 国語の文章読解は、4年生の内容を学習できる。



町田市立南つくし野小学校  
通常学級22学級  
特別支援学級4学級 25名在籍  
町田市内の特別支援学級としては  
大規模な部類である。

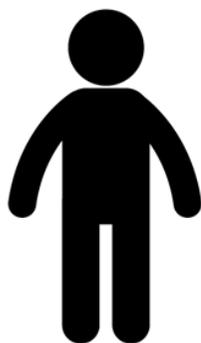


直線距離 1.3 km 通学路は約 2 km

1年前の

# 対象児について

「おそようございます」



- ・ ほぼ毎日遅刻をしている。  
(1時間目が始まる8時45分くらいになることも)
- ・ 服薬を忘れて登校し、不安定なまま学校で過ごすことがある。







「まだやってるの？」

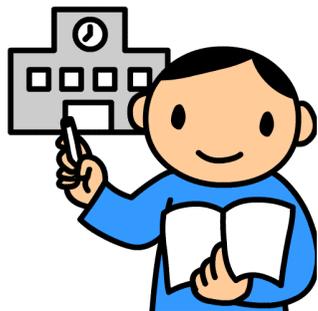
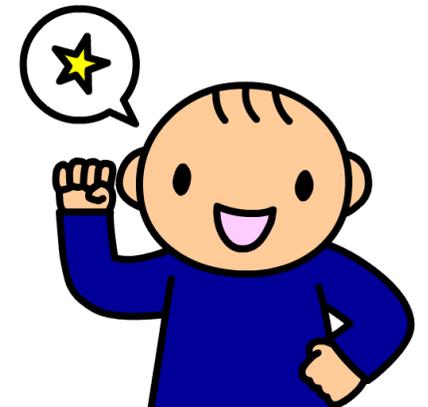


- ・ 「書く」ことが求められる課題はなかなか進まない。  
(国語に限らず算数のプリントなども)
- ・ 特に作文の課題は進みが遅い。

でも・・・

校外学習や行事のときなど、必要な場面では遅刻せずに登校できる。

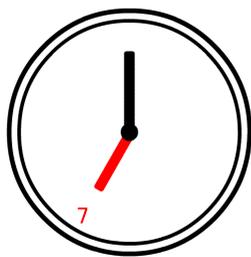
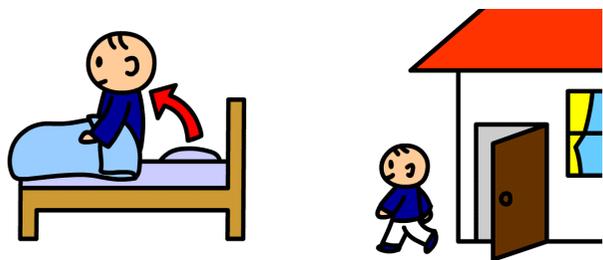
書写のときは、見本を見ながら丁寧に漢字を書くことができる。



決して「できない」わけではない。  
何か手立てをとることで、「できる」経験を積む  
方向に持っていけないか？

# タブレット端末の導入

## 【生活時間の管理】

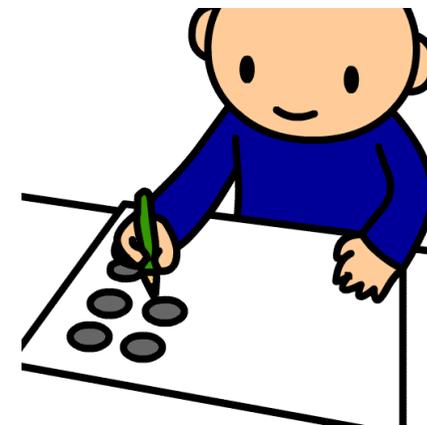


朝起きてから登校するまでの時間を自分で把握、管理して遅刻を減少させたい！



iPadを使用

## 【書字をスムーズに】



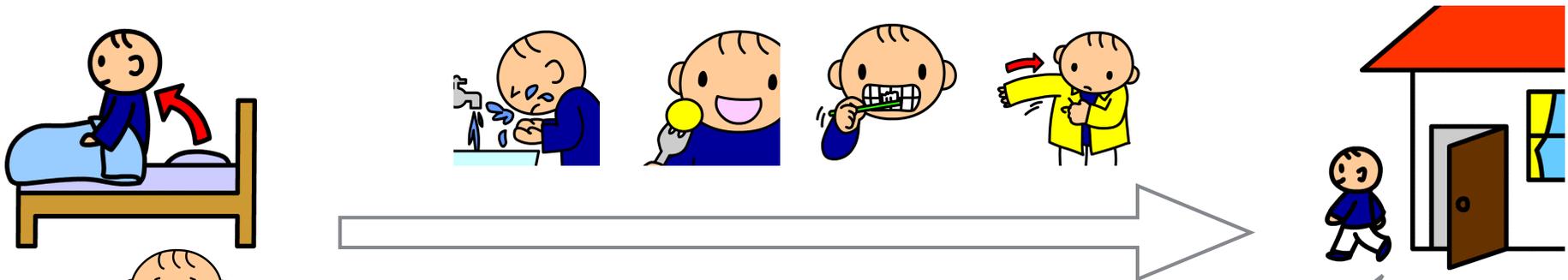
書字をスムーズに、そして書ける漢字を増やして自信をもって学習できるようにしたい！

# 生活時間の管理

## なぜ遅刻が多い？

家庭からの要望

「自分で起きられるようになってほしい」



自分で起きて間に合わせ  
ようとならないから・・・

出発までに時間か  
かかる

それが許容されて  
いるのかも・・・

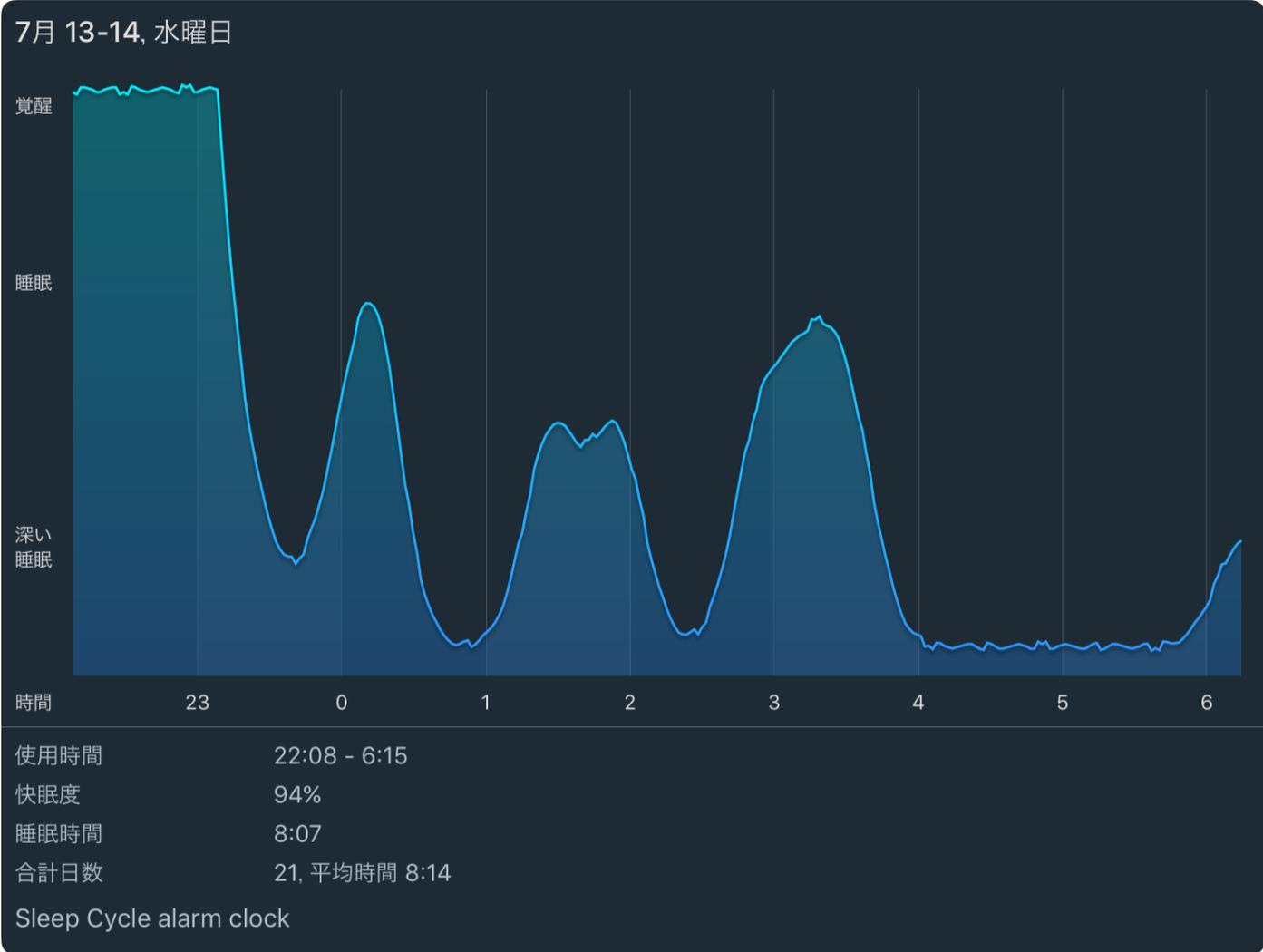
# アプリの活用



自分で起きるための手立てとして・・・

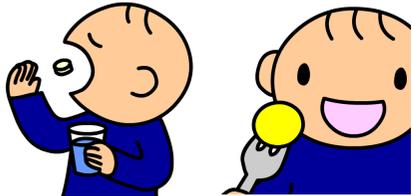


Sleep Cycle





登校や服薬管理など、自分の生活に欠かせないもののスケジュールを自分で管理するための手立てとして・・・



12:00

生活スタンプ

スタンプ名	2016/07/08
お昼を食べた	2016/07/07
おやつを食べた	寝た 22:20
ゲームをした	起きた 07:03
学習	2016/07/06
夕食を食べた	寝た 22:24
歯を磨く	2016/07/05
お風呂に入った	寝た 22:15
	朝食を食べた 07:24
	2016/07/04
	寝た

記録される

項目をタップすると

## 登校時刻の変化

	平均登校時刻	担任の印象
取組前	8:38	ほぼ毎日遅刻。
取組後 (1学期)	8:26	8時15分に間に合うようになってきた。
取組後 (2学期)	8:18 ( 9・10月) 8:17 (11・12月)	時々遅刻している。 大きな遅刻は少ない。

余裕をもって教室に入れるから、学習の入りがスムーズ。  
友達や先生と関わる時間ができる。

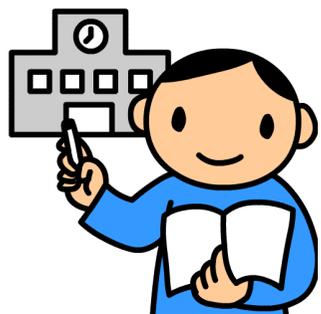
11月、対象児が下校時に交通事故にあう。

横断歩道での車との接触である。

事故のあった場所は本来の通学路ではない。なぜ？



通学路は歩道橋があって疲れる。  
このルートなら横断歩道で大きな道路を渡  
れる。だからこのルートで帰った・・・。



中学校は小学校よりも少し遠い。  
進学を考えると、これは非常に心配だ・・・。  
体力強化は不可欠だけど、進学を見越して「間  
に合うように歩いて登校する」という経験がもっ  
と必要なのではないだろうか。

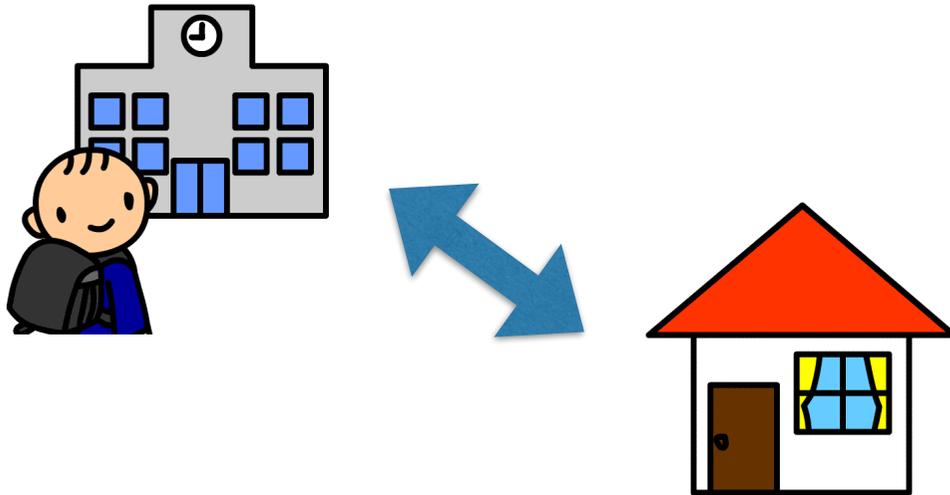
続

# 生活時間の管理

アプリの活用

12:00

生活スタンプ



家を出た時刻と学校に到着した時刻を記録し、登校に何分間かかったかを担任と対象児とで振り返る。

The screenshot shows a mobile application interface for recording daily activities. The top bar includes '編集' (Edit), 'スタンプの編集/追加' (Edit/Add Stamps), and a plus sign. The main content is a list of stamps for two consecutive days. The first day, 2016/12/08, shows a sequence of events: arriving at school (16:04), leaving home (15:25), arriving home (08:16), and leaving school (07:37). The second day, 2016/12/07, shows: waking up, eating breakfast (15:20), drinking medicine (14:35), and eating lunch (08:09). The bottom navigation bar contains icons for 'スタンプ' (Stamps), '時間帯別集計' (Summary by Time Period), 'メール出力等' (Email Output, etc.), and '使い方' (Usage).

スタンプ名	2016/12/08	
学校に着いた	家に着いた	16:04
家を出発	学校を出発	15:25
家に着いた	学校に着いた	08:16
学校を出発	家を出発	07:37
2016/12/07		
起きた		
朝食を食べた	家に着いた	15:20
薬飲んだ	学校を出発	14:35
お昼を食べた	学校に着いた	08:09

## 一人での歩き登校

日付	出発時刻	学校到着時刻	かかった時間
12/7	7:37	8:09	32分
12/8	7:37	8:16	39分
12/14	7:42	8:35	53分

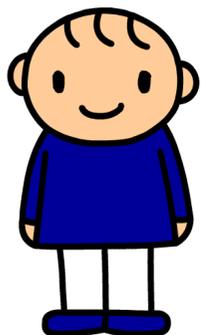
違いは5分だが・・・遅刻 時間がかかりすぎている

担任 「時間がずいぶんかかったね」

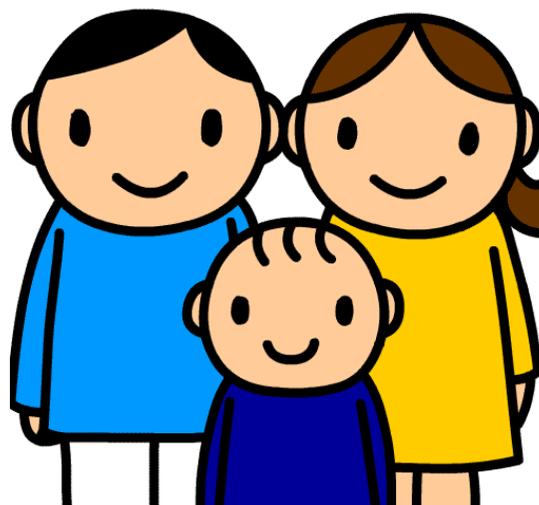
対象児 「のんびり歩いて遅くなった」

「遅れた」という事実に対して、担任と対象児とでデータを元に振り返りができた。

## 何がどう変わったか？



対象児の変化  
だけではなく



対象児の変化  
プラス  
家庭の積極的な関与

(車登校について)

「混まない道を通っている。」

「間に合うように出発するようになった。」

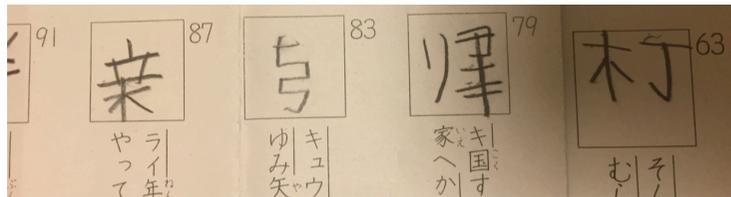
(歩き登校について)

「途中で車を降りてそこから歩くこともあるけど、それだったらうちから歩いた方が速いかもしれない。」

# 書字をスムーズに

## なぜ書字が苦手？

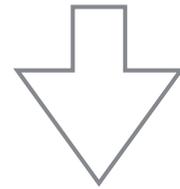
「だいたいこんな漢字」は書けるが、細かい部分で間違える。



想起に弱さがあるのではないか？

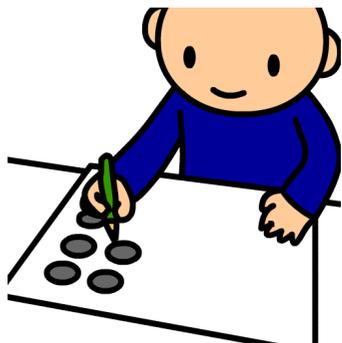


手元で大きな見本が使える「習字」は集中して頑張れた。

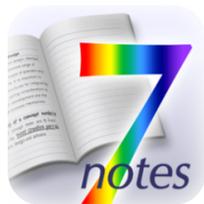


- ・ 入力した文字を漢字に変換することで、漢字の「思い出せない」を減らせるのでは？
- ・ iPadの画面に漢字の見本が大きく表示されれば、その見本で「書ける」を実現できるのでは？

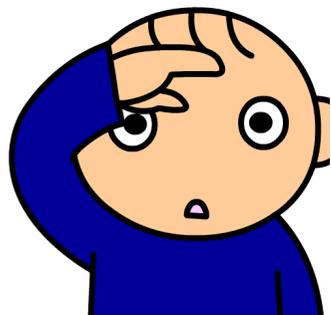
# アプリの活用



作文の下書きに使うものとして・・・



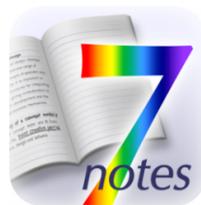
7notes



漢字の見本として・・・



筆順辞典



7notes

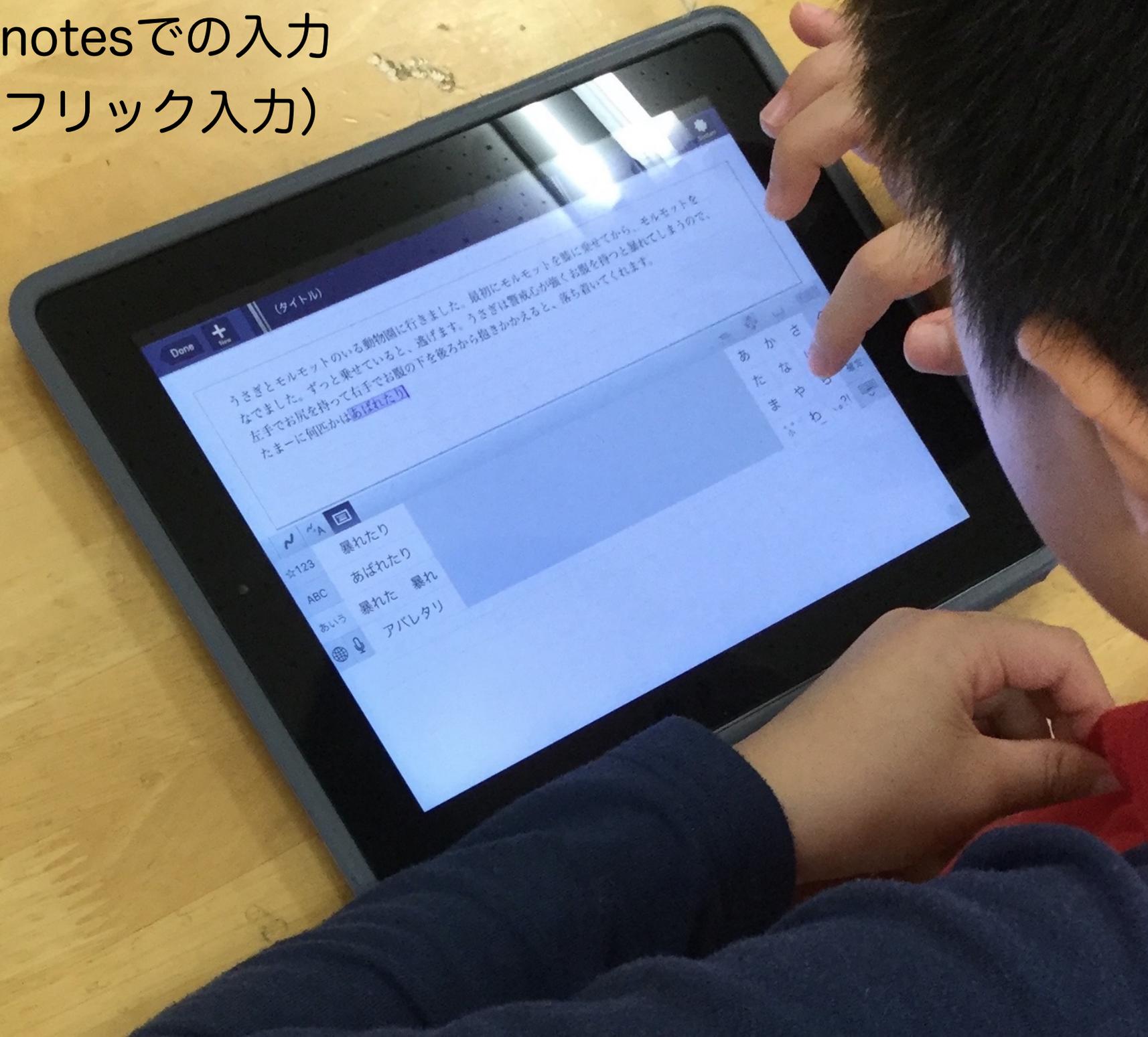


日常的な漢字学習の手段として・・・

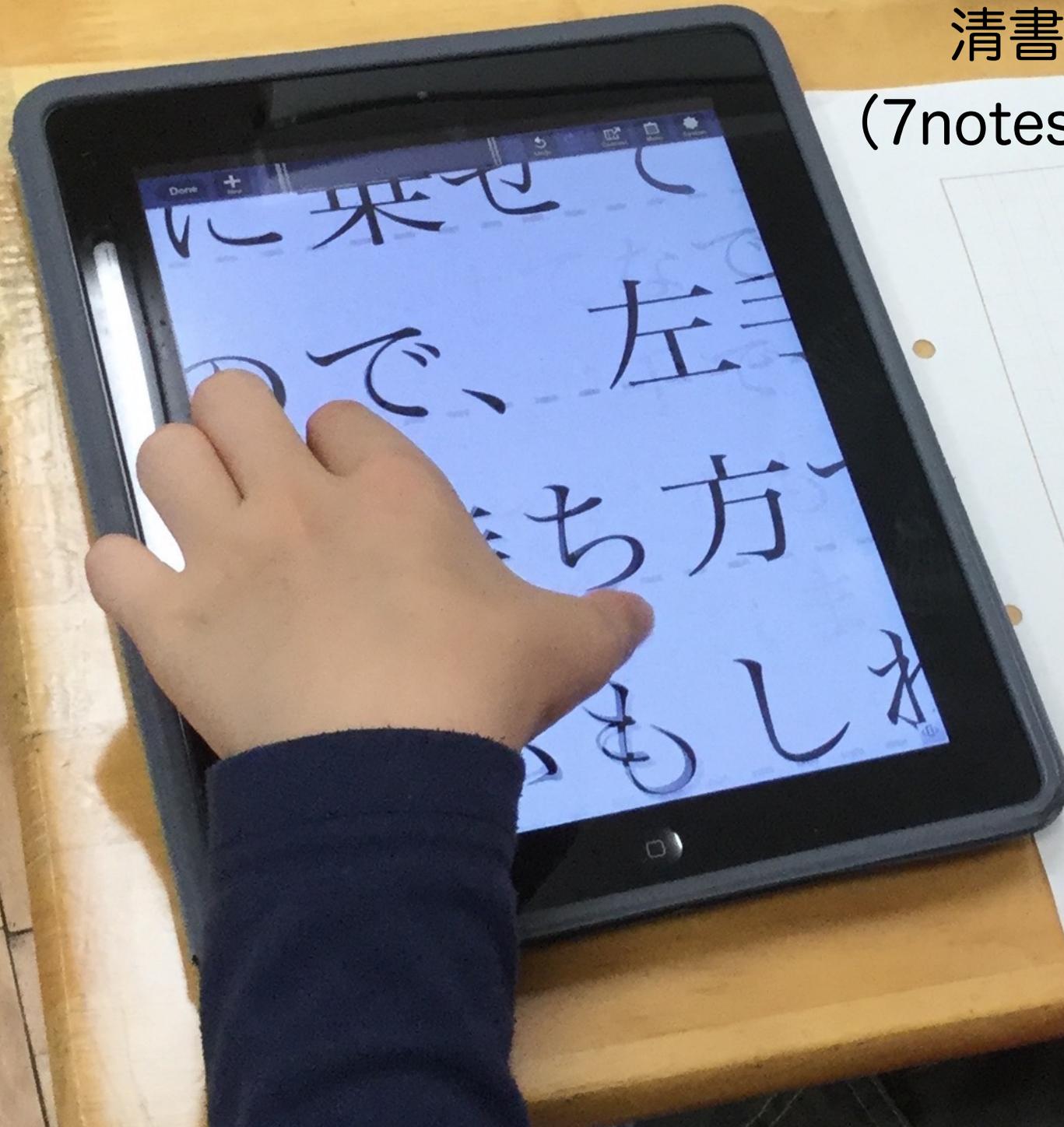


楽しく学べる漢字シリーズ

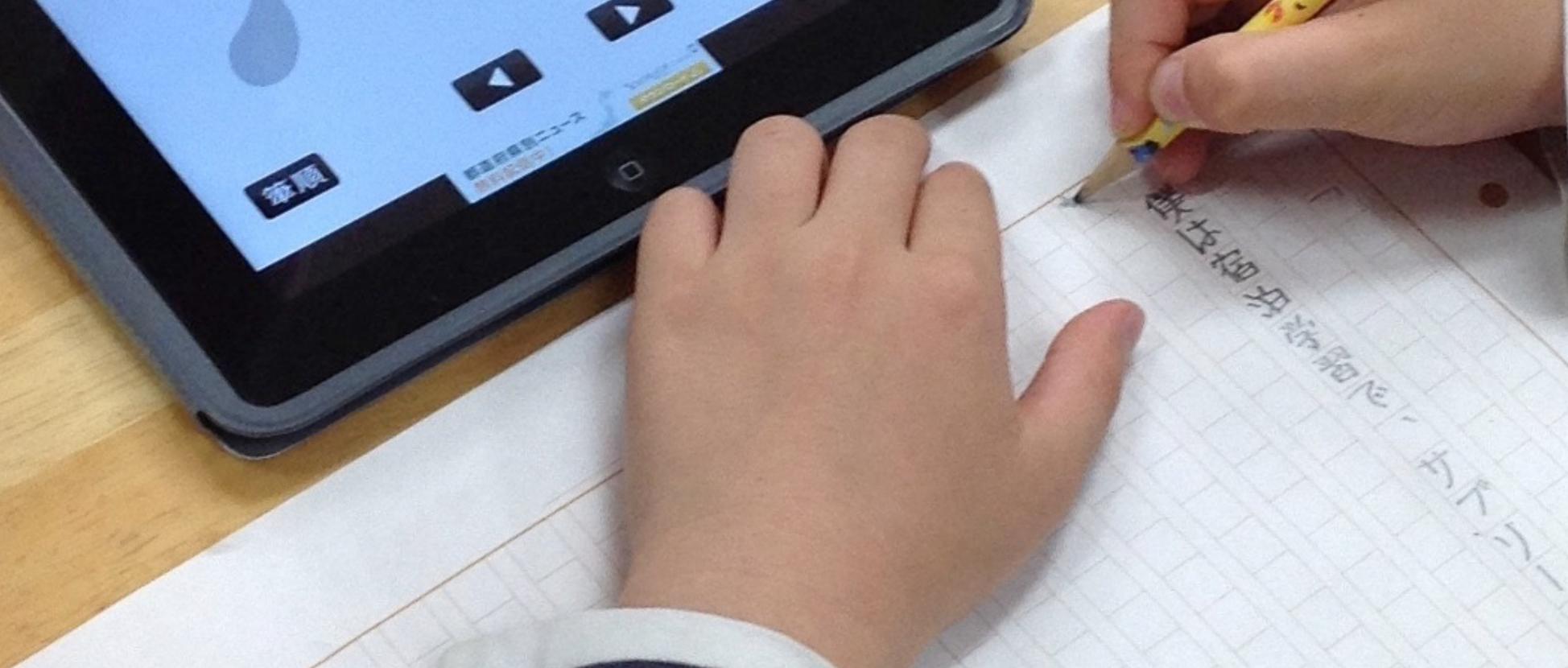
# 7notesでの入力 (フリック入力)



清書場面  
(7notesの拡大)



清書場面  
(筆順辞典)



「うさぎをだっこできておかつた」

宿泊学習の二日目、うさぎとモルモットのいる動物園に行きました。最初にモルモットを膝に乗せてなでました。ずっとなでていると、お尻を触ると、逃げます。うさぎは警戒心が強くお腹を持つと暴れてしまうので、左手でお尻を持つて右手でお腹の下を後ろから抱きかかえあげると膝に乗せることができます。その持ち方でも何匹かはたまに暴れてしまいません。その場合は何度か持つてあげれば膝に乗せることができます。うさぎは警戒心が強いと書きおしたほか、うさぎは遠くまで唯一あまり暴れないでくれたうさぎがいました。そのうさぎは、四匹位はいたのではなかなかに見分けが付きませんでした。僕は去年まではうさぎをお腹から持つていたので、そのうさぎは暴れてしまうので抱きかかえるどころか膝に乗せることが出来なかつたです。最初の方で言ったように左手

(この作文では416文字中98文字の漢字を使用)



1月5日

ドリル7

刀<sup>1</sup> 絵<sup>1</sup>  
切<sup>1</sup> 画<sup>1</sup>  
多<sup>1</sup> 工<sup>1</sup>  
少<sup>1</sup> 凶<sup>1</sup>  
点<sup>1</sup> 作<sup>1</sup>

1月3日

ドリル6

算<sup>1</sup> 公<sup>1</sup>  
理<sup>1</sup> 園<sup>1</sup>  
科<sup>1</sup> 国<sup>1</sup>  
答<sup>1</sup> 語<sup>3</sup>  
考<sup>2</sup> 計<sup>2</sup>

1月2日

ドリル5

聞<sup>1</sup> 教<sup>1</sup>  
言<sup>1</sup> 室<sup>2</sup>  
交<sup>1</sup> 紙<sup>1</sup>  
通<sup>1</sup> 書<sup>1</sup>  
行<sup>1</sup> 読<sup>1</sup>

1月2日

ドリル4

岩<sup>1</sup> 活<sup>1</sup>  
谷<sup>1</sup> 声<sup>1</sup>  
星<sup>1</sup> 会<sup>1</sup>  
帰<sup>1</sup> 合<sup>1</sup>  
来<sup>1</sup> 海<sup>1</sup>

1月2日

ドリル3

回<sup>1</sup> 色<sup>1</sup>  
毎<sup>1</sup> 新<sup>1</sup>  
万<sup>1</sup> 古<sup>1</sup>  
歌<sup>1</sup> 道<sup>1</sup>  
楽<sup>1</sup> 何<sup>1</sup>

宿題としての活用。

# 担任が意図していなかった場面で・・・

## 夏休みの宿題 (絵日記)

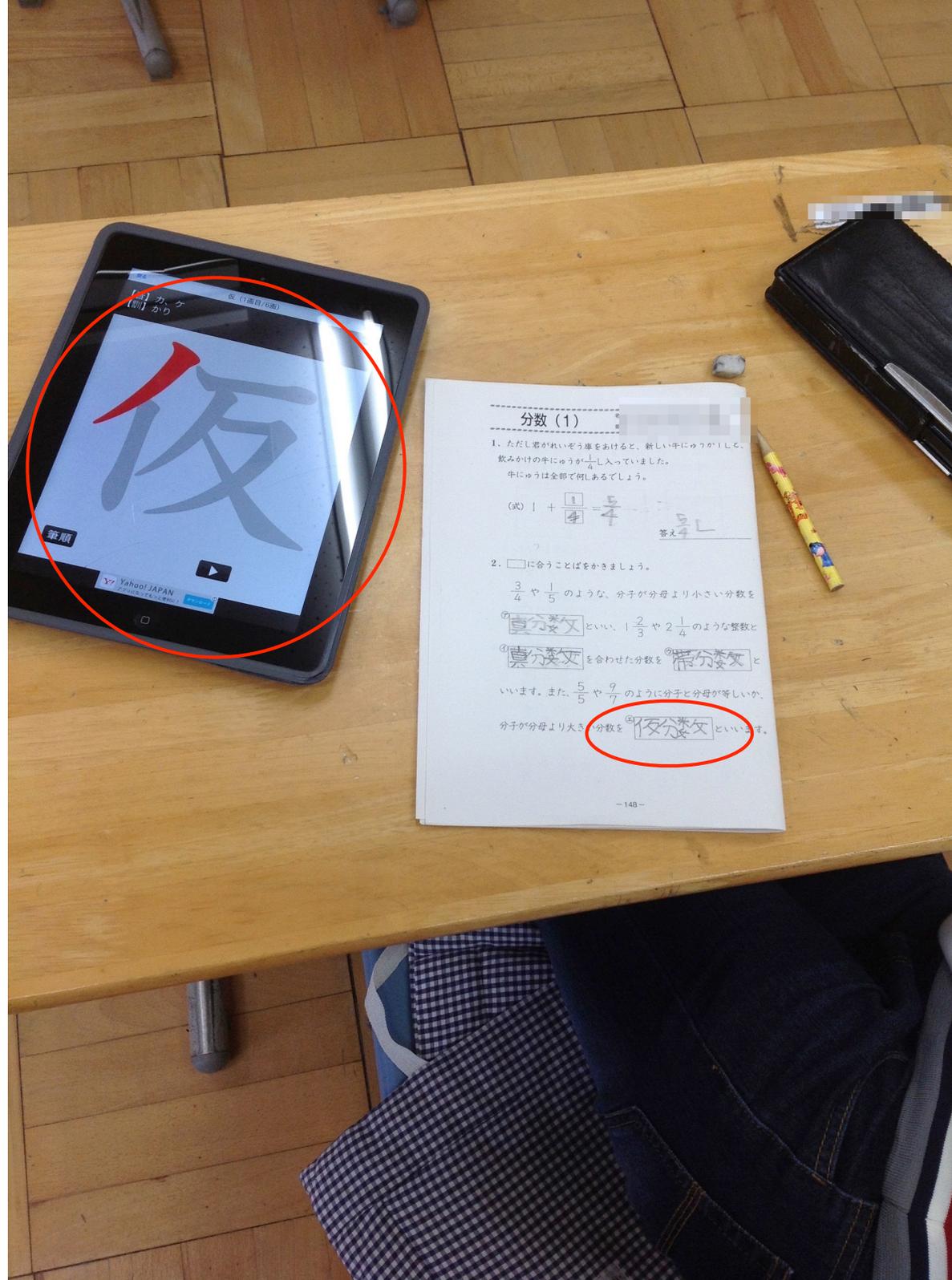


み	ま	夜	家	ら	し	そ	ユ	田	お
ま	し	グ	だ	い	た	の	の	の	ば
し	た	飯	と	ま	。そ	後	父	父	あ
た	。の	は	は	し	の	い	母	母	ち
の	。	は	ひ	た	後	ち	に	に	か
		い	ど	。	に	五	。	行	ん
		の	警	お	。	十	。	ま	と
		出	察	ば	。	田	。	ま	ぼ
		前	行	あ	。	も	。	ま	く
		な	い	ち	。	ら	。	。	の
		頼	ま	。	。	い	。	。	家
		。	い	。	。	ま	。	。	族
			ま	。	。	し	。	。	で
			し	。	。	た	。	。	山

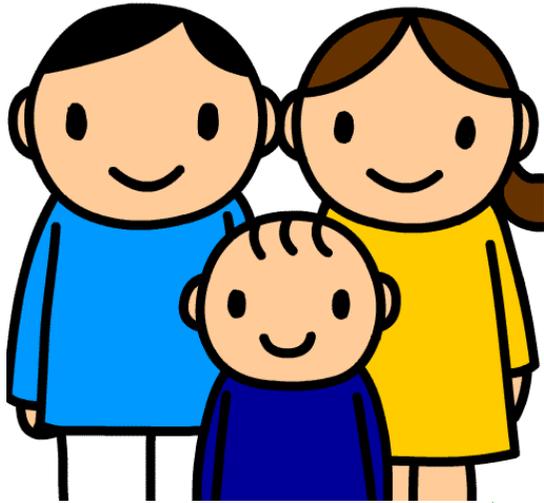
習っていない漢字も調べて書いた。

# 算数の学習場面

「仮分数」の「仮」という漢字が分からず、筆順辞典で調べて書いた。



## 保護者からの評価



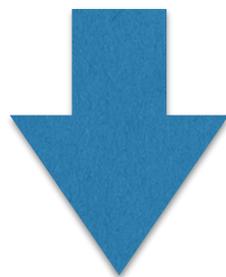
「タブレット端末を使うことで、字を書くことが積極的になった。」  
(1学期通知表へのコメントより)

「子供に任せていた部分があり、操作などもっと知っておけばよかったかもしれない。」  
(端末活用について聞き取り)

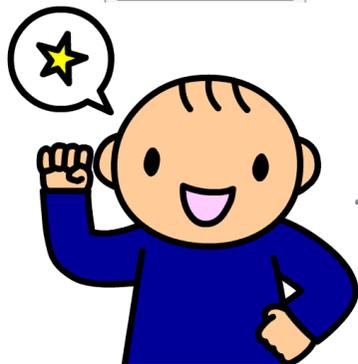
## 漢字を書くことへの意欲



正しく思い出せない・・・。  
書くのに時間がかかる・・・。



正しい漢字の書き方がわかる。  
時間があまりかからずに書ける。



だから・・・

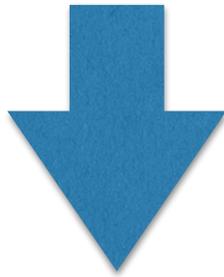
漢字を使おう！  
書こう！

# 今後の取り組み

中学校入学まであと1年と少し。

何ができる？

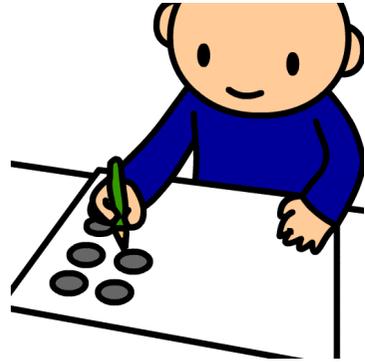
- ・ 「できるようになった」 ことの継続



歩き登校と登校時間の計測を継続し、

「遅刻のない歩き登校」を目指す。

- データに基づいた彼の成長の把握

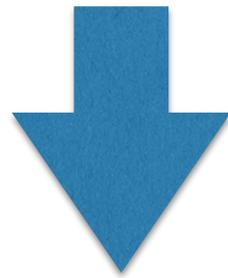


書きの速度は？

漢字の習得は？

何ができる？

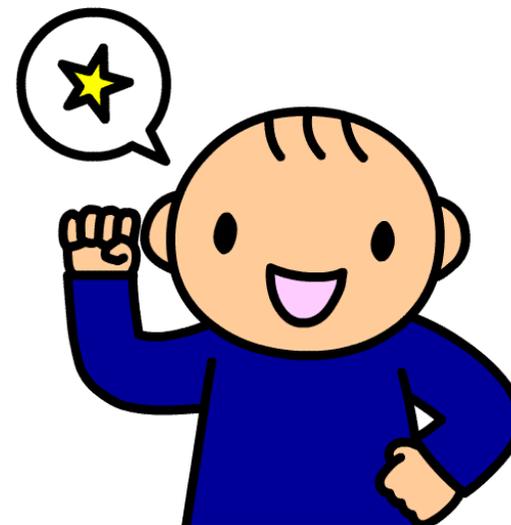
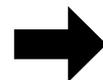
何が強み？



最適な支援を実現する。



+



困っていても 支えがあれば

できる！

意欲をもてる！

自信をもてる！